

## 現状の課題

- 1 発信力不足…相手の応答に対する再発信力(さらに追究したり、話題を切り替えたりする力、応用力)の弱さ。
- 2 コミュニケーション不足…伝えたい内容と実際に使っている英語のギャップ。何とかして伝えよう、理解しようとする意欲。
- 3 語彙力・文法事項のくり返し。

## 具体の取組の内容

- A コミュニケーション重視の帯活動…ペアで1分間トーク。題材は生徒またはALTが設定する。新しい文法事項を盛り込み、くり返し(確認)・意見や感想など・質問など(つけ加え)を行う。2ペアをランダムに組み合わせ、全体で発表させる。興味・関心や使用頻度の高い語句については、教科書外の内容でも教える。アドバイス(質問やくり返しの例、文法事項の確認、指導者の答えなど)を与える。対話が停滞したときは、一言ヒントを与える。
- B 異文化紹介…ALTによるふるさと紹介、クリスマス(正月)、感謝祭、イースターなどを提示し、異文化に触れる。
- C スペリングコンテスト…定期的に行い、基礎・基本的な語句の定着・運用を図る。
- D スピーチ…テーマに沿って、伝える相手のことを考えながら、自分と関連が深いことを話す。
- E ペアやグループ活動の重視…自分で考え表現する時間を大切にしながら、他と常に関わり合い、教え合い学び合う環境を作る。
- F 町独自のイングリッシュキャンプ実施…ネイティブスピーカーとクイズやある話題に対する集団討議などを行う。(1年生)

### 成果①

- 1 内容重視型の授業展開により、異文化に対する興味が高まり、相手に何とかして伝えようとするできるようになった。
- 2 自分のことについて話すだけでなく、相手の話にも興味をもって質問したり付け加えることができるようになってきた。

### 成果②

- 1 単純なやりとりから始めて、徐々に語、句、文、文章へとつなげることができるようになった。
- 2 “One more time, please?” “How about you?” “You mean~”などを用いて、アイコンタクト・相手との距離感・表情・ジェスチャーなどを交えて対話することができた。
- 3 ともかく使ってみること、反復練習をすることで力がついてきた。

### 今後の課題・方向性

- 1 使いたい語句が分からない場合の説明のしかた(言い換える力)の育成。
- 2 “How about you?”とくり返した後の展開(言いつばなしにならないよう、相手を尊重したやり取りをする)。
- 3 聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くこと—総合的な力(運用力)の育成。